

令和4年度 第2回 福井警察署協議会 開催結果

1 日時

令和4年7月28日（木）午後2時00分から

2 場所

福井警察署

3 出席者

- 協議会委員 9名
- 福井警察署 署長以下8名

4 内容

- (1) 協議会副会長挨拶
- (2) 福井警察署長挨拶
- (3) 業務報告

ア 生活安全課・刑事課関係

- (ア) 空家対象侵入窃盗事件被疑者の逮捕
- (イ) 違法薬物の密売人2名の逮捕
- (ウ) 無許可風俗飲食店の摘発・逮捕

イ 交通課関係

- (ア) 飲酒運転撲滅広報啓発活動
- (イ) 自転車利用者に対する街頭指導
- (ウ) 通学路における交通指導取締り

ウ 警備課・地域課関係

- (ア) 公共交通機関におけるテロ対策訓練
- (イ) 若手警察官を対象とした大規模災害対処訓練
- (ウ) 犯罪多発地域における集中運用

エ 警務課

部外講師による教養

オ 交通啓発動画視聴

(4) 質疑応答

【委員】

自転車保険の義務化について、加入していない場合の罰則などはあるのか。

【警察】

罰則はないが、自転車で事故を起こし多額の賠償命令が出るケースもあることから、保険には加入するよう呼びかけている。

【委員】

車は横断歩道で待っている人がいれば必ず止まらなければいけないが、横断するかどうか判断できないことも多いことから、横断者も手を



挙げてアピールするなどアクション促す広報をする必要があるのではないか。

【警察】

横断するかどうか判断しかねる場合であっても、停止していただきたい。

歩行者については、頭を下げる、渡らない場合は車に走行を促すサインを出す等のアクションについて、施策として検討する。

(5) 提言に向けた協議

【委員】

性犯罪、特殊詐欺等の犯罪が依然として後を絶たない状況であり、また他県では、考えられない事件が発生し、安心できる環境の中で生活できなくなるのではないかと不安を感じていることから、安心して安全な地域の実現に向けて取り組んでいただくことを提言としてはいかがか。

【委員】

福井市内で、高齢男性が若い女性から「食事しないか。」などと声をかけられたと聞いた。「パパ活」について、福井では事例はあるか。安心安全に向け、被害者も加害者も出さない街づくりをお願いしたい。

【警察】

当署管内、県内でも把握はしていない。ただし、そのような事例があったのであれば、活動の参考とする。

【委員】

横断歩道の白線は薄くなった際、どこに連絡すればいいのか教示願いたい。

【警察】

警察署の交通課に連絡をいただきたい。警察本部の担当課で対応する。

【委員】

地域の実態に即した啓発活動をしながら、いつでも警察に相談できる信頼関係を構築する取組をお願いしたい。

【委員】

あらゆる捜査の中で、防犯カメラ映像などが証拠として重要視されており、犯人の追跡、検挙、各種違反の取締り、防犯に役立つことから、市町や自治会、企業と連携して積極的に防犯カメラの設置を促進し、安全安心な街づくりを推進することを提言に加えていただきたい。

(6) 提言

安全で安心な地域の実現に向け、次の3点を重点とした取組を推進していくことを提言します。

- ・特に子ども、女性、高齢者などの社会的弱者を犯罪等の被害や交通事故から守るための積極的な警察活動をお願いします。
- ・犯罪や事故の発生状況等の分析を徹底し、地域の実態に即した効果的な警察活動をお願いします。

・市町や自治会、企業等と連携して防犯カメラの設置を促進するなど、安全・安心な「まちづくり」の推進に向けた取組をお願いします。

なお、拝命5年未満の若手警察職員のスキルアップが重要課題のひとつであると承知していますので、創意工夫を凝らして早期戦力化を図り、提言に向けた取組に尽力されることを期待します。